

2020年度（第35回）レーザー安全スクールを実施

当協会は、第35回レーザー安全スクールを2021年2月22日～3月19日に、eラーニング形式によるオンラインセミナーとして実施した。

今年度はCOVID-19感染拡大の状況が長期化したことにより、開催は見送らざるを得ないと判断していたものの、多方面からの要望があったことから、eラーニング形式によるオンラインセミナーとして2月～3月に時期を変更して開催した。

本スクールはレーザー機器の普及に伴う機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するため、1983年に「レーザー機器導入・安全取扱い講習会」としてスタートし、時代の変遷に伴い「レーザースクール」、「レーザー安全スクール」と改称しながら、計35回実施してきた。「レーザー安全スクール」と称してからは今年度で31回目の開催となる。この間、内容も日本工業規格であるJIS C 6802「レーザー製品の安全基準」および関連する個別規格の改正に対応した見直しを行うことで、最新の日本工業規格および厚生労働省・基発第0325002号「レーザー光線による障害の防止対策について」を網羅し、光加工、光通信、レーザー医療等の各分野に従事するレーザー機器取扱者の障害事故の発生を未然に防止するために最新の規格に対応する内容とし、社会の要請に応えるものとしている。

受講者数を各コース別に下表に示す。今年度は開催形式の変更で、受講申込期間を多くとれなかったことから、受講者数が大きく減少することを予想していたが、昨年度（対面形式で2期に分けて開催）の3分の2にあたる490名に受講していただくことができた。

来年度は例年通り10月～11月開催の予定であるが、開催方法はCOVID-19の状況や今回のeラーニング形式の反省等も踏まえて決定する。

レーザー安全スクール コース別受講者数：単位（名）

コース名	今回	昨年度
Iコース：光・レーザー概論	35	45
S1コース：レーザー工学の基礎	83	122
S2コース：レーザー安全の基礎	157	236
S3コース：レーザー応用機器の安全	41	91
S4コース：大出力レーザー機器の安全	74	105
合計	490	746